

大阪に引っ越して半年

昨年12月4日、20年余り住んだ名古屋「アーベイン星ヶ丘」を引っ越した。11月中旬からの引っ越し作業は、じつに大変だった。6階の廊下から何十回もゴミを運んだ。重い本を千種図書館などに持って行った。引っ越し当日も荷づくりに追われ、疲れ果てて新大阪のホテルにたどり着いた。

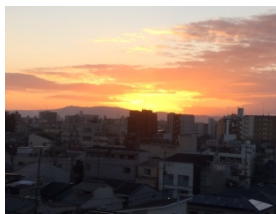


翌5日は朝から荷物の運び入れと片付け。前日からの引っ越し業者さん大奮闘

のおかげで、運び入れはスムーズにいった。あとは段ボールからの取り出しと整理へと。翌6日には淀川区役所に出向き、住民登録の手続きをして、「大阪市民」として暮らすことになった。「敬老パス」はまだもらえないなど、まごつくことも多かった。

数日後には、近所で中古自転車を購入し、自宅周辺だけでなく、吹田や豊中まで足を伸ばすことに。大阪は私のような高齢者など、名古屋より自転車利用が盛んなまちだ。自転車の便利さを痛感しているが、なるべく休日だけにして、健康のために歩くことを心がけている。

できるだけ自宅に閉じこもるのではなく（名古屋では名古屋大図書館を利用したが）、西長堀の大阪市立中央図書館に出かけることに。自宅は地下鉄・御堂筋線の東三国駅に近いが、新大阪まで往復歩いた。通勤定期を買い図書館「研究個室」を利用することで、生活リズムを取り戻せた。星ヶ丘ほどではないが、自宅ベランダから、生駒山あたりの朝焼けの空を眺めることもできた。



名古屋で一昨年夏のリニューアル工事により、URは見違えるようになった。大阪で再び、リニューアル工事に遭遇すとは、想定外だった。連休明けから工事が始まり、ベランダと廊下に足場が組み立てられ、黒いシートに覆われた。気持ちも暗い日々が続いた。

やっとなんか足場と黒いシートが外され、心がなごんでくる。でも、すぐに梅雨入りとなる。4月からは、大阪市立中央図書館ではなく、大阪市立大学図書館を利用することにした。資料の関係もあるが、若い学生さんらに囲まれて勉強したくなったからだ。そのため通勤定期も「我孫子」までの3ヶ月に変更した。片道320円もするので、通勤定期ですこしでも割安に。40数年ぶりに大阪市立大に通うようになり、若返ってきた。



それと大阪に来て、宮本憲一先生宅での研究会や多様なシンポジウムなどに参加するようになり、なんだか積極的になってきた。半年の「大阪暮らし」報告である。

(2018年6月5日)